



豊作を祈って マユダマだんご



人々の「心」がまちづくりの原点だと思います、と大森さん

西暦100X年、一人の老人が周りの景色を懐かしむ様に、また何かの思いにふけ、路上に敷き詰められたいちょうの葉をしっかりと踏み締めながら、ゆっくりと歩いて行く。今から三十年も昔、一九八〇年代、ここを排気ガスと騒音とをまき散らしながら自動車がわが物顔に突っ走っていたものだが、今は一台の車もない。この老人は、市のコミュニティセンターで開かれる「老人と青年との集い」で、昔なんだトイの文豪、ゲーテについて何を話すかを頭の中で整理しながら歩いていたのである…。

今は一九八三年二月。未來の越谷の姿を自分勝手に夢想してみるのも楽しいものである。いや、夢想ではなく現実に越谷では、既に西暦2000年代の越谷のまちづくりのプロセクトがスタートしている。

私は越谷との最初の出会いの印象は、「電車に乗って退屈するほど遠い田舎」であった。昭和五十一年二月

越谷市が二十一世紀に向けてスタートさせようとしているまちづくりの原点は、この「心」であつたのも人との集合体なのです。

私がどうして「越谷」は、なんの感

情もないつめたて有名な詞ではないに感じたあの「遠さ」(疎遠さ)に取って代わり、今は越谷に大きな愛着を感じています。

私はいつもお世話をうながす人々、そしてその人々との心のふれあい・交流という、生きた心と人との集合体なのです。

* 犬の散歩にはふんの始末も忘れずに!

1月15日を中心として、14日から16日ごろまで小正月といいます。小正月の行事としてマユダマだんご作りがあります。マユダマは、うるち米を粉にひいて紅白のだんごを作り、柳の枝にさして米俵や神だなに飾ったもので、一年の豊作を祈ったものです。市内ではこのほか、ダンゴのかわりにもちをつき四角に小さく切って枝にさすところもあります。(写真は14日、増林の鈴木幸吉さん宅で)

二十一世紀にむけて

平方
九〇五五

大森忠勝
(44歳)

越谷とわたし

110◇◇

「越谷とわたし」は、あなたのコーナーです。みなさんの投稿をお待ちしています。字数は900字程度です。

広報広聴課

今月は市税9期分の納期です。納期限は2月28日(月)です。
納期限内納付にご協力ください。

住民税(市県民税)の申告は 3月(期間中)の日曜日も受け付けます

住民税は、各地区の公民館と市役所5階の会議室に申告会場を設けていますので、お近くの会場をご利用ください。

付は行いませんので、ご注意ください。
申告用紙は、2月6日ころに郵送しますが、万一篇数がない場合は、市役所の申告会場または、出張申告してください。

受付時間は、公民館では午前9時から午後4時まで、市役所では午前8時30分から午後5時まで(土曜日は正午まで)です。

市役所では、3月の日曜日(6日)にも午前9時から午後4時まで受け付けます。ただし、土曜日の午後と、2月中の日曜日は申告受け付けません。

市役所と公民館では、期間中駐車場の混雑が予想されます。できるだけ電車やバス、自転車等でおこし下さい。

57年中に個人で事業を営んだ方は、確定申告か住民税の申告どちらか一方を申告すれば、個人事業税の申告をする必要はありません。

事業税の 申告は



申告はお近くの会場で

所得税の確定申告出張受付け

午前9時30分～午後4時

業種	受付期間	申告会場
営農業および農業	2月16日(水) ・17日(木)	市役所5階 大会議室

*上記期日には、越谷税務署員が来庁しています。

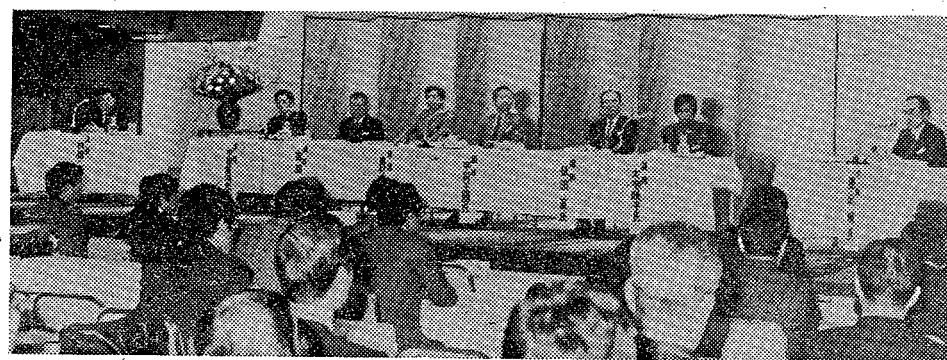
指定された日に都合の悪い方は業種受け付け期間においていただけます。ただし、土曜日の午後と、2月中の日曜日は申告受け付け

13日にも午前9時から午後4時まで受け付けます。ただし、土曜日の午後と、2月中の日曜日は申告受け

付けません。

午後と、2月中の日曜日は申告受け

付けません。



▲会場を埋めた400名で盛りあがりをみせたパネル討論

講師の顔ぶれ

(敬称略・順不同)

司会 日本放送協会解説委員
原田 晴
東海大学教授
宇都宮 深志
TVキャスター
埼玉県越谷市長

京都大学工学部教授
平岡 正勝
横浜国立大学教授
宮脇 昭直
東京電力株式会社企画部長
依田 直郎
未来工学研究所副理事長
林 雄二郎

<ゲスト> 未来工学研究所副理事長
林 雄二郎

大宅 映子
島村 健郎
島村 健郎

1月21日、東京平河町にある海運ビル
国際会議場で開かれた「環境ビジョン・シンポジウム」は、昭和56年度から58年度までの3か年にわたるマラソン・シンポジウムとして、内外から注目されています。今回は、行政の側から島村市長が講師として参加しましたので紹介します。



島村市長

私たちの越谷は、埼玉県東部の中川水系の一級河川五本に囲まれた沖積層からなる低地です。比較的高台には、古くから人が住み、江戸時代には日光街道第三の宿場町として栄え、明治以降、土地改良事業等が進んで、有数の穀倉地帯あるいは野菜の産地として主に農業が盛んでありました。

戦後、町村合併促進法により、2町8か村が合併し、昭和33年に市制施行いたし、当時は、人口4万8500人ほどであります。しかし、首都圏25%の地理的条件と、越谷市を南北に縦貫する東武線と、地下鉄日比谷線の相互乗り入れにより、昭和38年から45年の8年間、年間10パーセントを超える人口の急増をみるに至りました。

こことは市制施行25年を迎えます

が、現在では人口28万5000人を有し、かつての静かな田園村は、わずか20年の間に急成長し、さらに大都市への道を歩み続いているのが越谷市の現状です。

このような急激なまちの発展が、百年の計のもじづくと進められたのであれば、ほんの問題は起

るはずであり、自然環境を変更して止むをえないことです。

しかし、この場合であっても、自然の生態系や諸々の作用への影響

を、量的にも質的にも最小限にすべきであります。だからそれを復元、もしくは代價が得られるように措置すべきだ

と思います。広大な敷地を有する学園の他の近郊都市と同じよう、義務教育、保健所などの施設、道路、

医療、下水道、廃棄物処理など、いわゆる都市施設の建設拡充に追われ、気がついた時には大変な環境問

題を引き起こしていたのです。

多くは、単に水田を埋め立てて宅地化し、道路をつくり、また開発と

いっては自然林を切り倒してしまいました。

道路は舗装され、水路はさうばりとコンクリートなどで整備し、また子どもにとって危険であり、臭く暑苦しいところではドアなどを曇

にしてきました。

快適な環境を求めて

人が、ある地域、郷土、集中的に住み社会をなせば、当然、撮取と

廃棄がなされ、また自らのために、より快適な環境づくりを求める、自然への干渉と変容がなされるのは論を待たないところです。

その結果として、土地は保水機能を激減し、地盤沈下、河川のはざれや汚濁をきたし、それとともに、生態系が破壊され、子どもたちの友だちである虫や、鳥、魚をはじめ生物はすみかを失つて次第に遠くへ後退を余儀なくされ、子どもたちは今や文書の上だけで自然を知るだけになりました。

言いかえれば、まるの外的な環境

づくりは、人間もまた自然の一部であることを忘れたかのように、他の生存条件よりも快適条件を重視

したことによって、資源やエネルギーの不減の法則により、利

用に対する私たちの姿勢です。資源

およびエネルギーは、質量の不変、

つまり、資源を無駄なく使うこと

が、現在知恵を絞つても廃棄物の全

て、即席、廉価、機能的という観点

で、資源を大切にすることを必要最小限に止め、欲を抑えて予防的に資源の

使用を減らすような努力をすることも不可欠でしょう。高価であってもほんものを求め、手ぬきをした余暇

を、量的にも質的にも最小限にすべきであります。だからそれを復元、もしくは代價が得られるように措置すべきだ

と思います。広大な敷地を有する学

園の他の近郊都市と同じよう、義

務教育、保健所などの施設、道路、

医療、下水道、廃棄物処理など、い

わゆる都市施設の建設拡充に追わ

れ、気がついた時には大変な環境問

題を引き起こしていたのです。

多くは、単に水田を埋め立てて宅

地化し、道路をつくり、また開発と

いっては自然林を切り倒してしま

いました。

道路は舗装され、水路はさうば

りとコンクリートなどで整備し、ま

た子どもにとって危険であり、臭く

暑苦しいところではドアなどを曇

してきました。

さて、すでに手を下してしまった

現実の修復、軌道修正とともに、今

後はどうすべきなのか。人間の嘗み

は物にじるサービスにして、帰す

るところ一人ひとりの消費のために

なされていくわけです。需要がある

から供給があり、欲するから造られ

るわけです。とにかく物やサービスへ

の隣限ない欲望は結局のところ自然

の採取につながりますから、我慢と

忍耐を増し、その程をわきまえる必

要があると思います。

程とは、その限界とは、いったい

どの辺におぐべきなのでしょうか。

それは、自然が異常をきたさない

程度であり、自然の復元作用、浄化

作用の範囲内で、そして、効率

は落ちても使用した資源を再び自然

界に還元できる程度の加工であり、

仮に極度の物質変化を必要とするな

ど、それは、自然が異常をきたさない

程度であり、自然の復元作用、浄化

作用の範囲内で、

総合行政をめざして

低成長で財源的にも厳しい中での環境行政は困難でしょうが、そなた中でも総合行政をめざしてほしいと思います。ナショナルラスト的なモデルになるのではないか。企業を含めた民間と行政が一歩後世に残せるような運動がこれが國民一人一人が参加して、それらのモデルになるのではないかですか。企業を含めた民間と行政が一体となり、それがパートナーシップとなつて環境問題を解決していく必要があります。行政の専門性の導入も必要となるでしょう。専門職が必要があるし、行政にあたってほしいと思います。

宇都宮深志氏



宇都宮 深志氏

環境を作る努力

快適な環境の実現のために、望ましい環境を作るための努力ばかりではなく、環境を破壊していくものに対する、市民的義務責任を果たすような努力をしなければならないと思います。国民的、国際的コンセンサスが得られるよう方策を、経済的にも解決が可能なよう、これは言葉でいふほどかんたんなどではあります。が、国民の英知を結集すればかなり実現するでしょう。環境保全とその実現はあるあるの面で利便をうけている私たちが考えないといふ。



宮脇 昭氏

今までの公害対策的なハードな面から、人間の生活に密着したソフトな面へ。それを表現していくためには、役所でも企業でもほんものの行動が求められるでしょう。キャラクターフレーズに始むことなく、美化運動的な緑化、ほんものの緑としての美行き。このことはあるべき運営と実行力を持続性をもつた人がやれば、かなり成功すると思いま

うべきにせものとほんのを見分ける時代にきてると思います。国民のコンセンサスが得られたらすぐ実行を。このことはあるべき運営と実行力を持続性をもつた人がやれば、かなり成功すると思いま

日本人にとって望ましい環境像とは



大宅映子氏

心の汚染がすすんでいる

心の汚染といいますか、共有・共存の思想がないと思います。あまりかしこらぬ思想が入ってこないであります。個人としての責任を自覚しなければならないです。

徹底した個人主義になれというのではありませんが、個人としての責任を自覚しなければならないです。

お互いさま思想といいますが、白黒かという二選択ではなくて、優先順位の思想が入ってこないところからの環境問題はむずかしいです。大気や水ばかりではなく、心まで汚染している現在では。



平岡正勝氏

個々のシステムが最適努力をする。それを調整するためには行政のほうで目標をかけ、若い人に希望を与えるような環境行政になればなりません。短期的なもの、長期的なものの目標をしぼってそれぞれの英知を結集していくなら、よりよい方向に向かっていくでしょう。

それだけに子をもつ親の悩みは深刻な問題として、多くの人びとから深い関心が寄せられています。ひょいひょい少年非行といつても、その内容・行為はさまざまですが、最近における頭著な傾向としては、窃盗(万引き・乗物盗)・シンナ等薬物乱用・喫煙・不純異性交遊・不健全娛樂などの行為が若しく増えているのが特徴です。

これらの少年非行の激増する要因にはさまざまな背景が考えられます。主として、少年の規範意識が薄れて良いくこと悪いことのけじめがゆがんでいる。甘やかされて依存心が強く、がまんができない。核家族化・受験競争のひずみ。情報化など、その根柢は家庭・学校・社会に潜み極めて複雑であります。従って、解決のために、家庭・学校・社会が一体となって、それの場で、少年を健全に育てる教育機能を取り戻していくことが欠かせない条件です。

少年非行の問題は今日わたくたちの身近な話題として、多くの人びとから深い関心が寄せられています。ひょいひょい少年非行といつても、その内容・行為はさまざまですが、最近における頭著な傾向としては、窃盗(万引き・乗物盗)・シンナ等薬物乱用・喫煙・不純異性交遊・不健全娛樂などの行為が若しく増えています。

これまでの貴重な経験が薄れて良いくこと悪いことのけじめがゆがんでいる。甘やかされて依存心が強く、がまんができない。核家族化・受験競争のひずみ。情報化など、その根柢は家庭・学校・社会に潜み極めて複雑であります。従って、解決のために、家庭・学校・社会が一体となって、それの場で、少年を健全に育てる教育機能を取り戻していくことが欠かせない条件です。

具体的には、道路などの清掃や空き地の回収等の環境美化運動を積極的に推進することです。あるいは花壇づくりや植樹づくりなど生産活動の体験、老人ホーム慰問などのボランティア活動の展開、スポーツ・レクリエーション活動と組み合わせたこれらの「青少年の社会参加活動」をそれぞれの地域で強力に進めることによって、一人でも多くの少年達が参加する様にする事が急務です。

「少年非行の対応には即効性はあります」と。要は学校・家庭・地域社会が絶えず綿密な連携を保ちながら、それとの実態に応じた学校・地域ぐるみの少年健全育成こそ、やがて少年非行の防止・対策となる道ではないでしょうか。

若い人たちに希望を

環境問題を考えるとき、市民の理解、行政の協力が必要ですが、自分たちの環境は自分たちで守っていくんだという雰囲気を醸成(じょうせい)して、コンセンサスが得られるようすべくまじょう。

いじめ、コンセンサスが得られるようすべくまじょう。キャラクターフレーズに始むことなく、美化運動的な緑化、ほんものの緑としての美行き。このことはあるべき運営と実行力を持続性をもつた人がやれば、かなり成功すると思いま

うか。企業を含めた民間と行政が一歩後世に残せるような運動がこれが國民一人一人が参加して、それらのモデルになるのではないかですか。

企業を含めた民間と行政が一歩後世に残せるような運動がこれが國民一人一人が参加して、それらのモデルになるのではないかですか。

